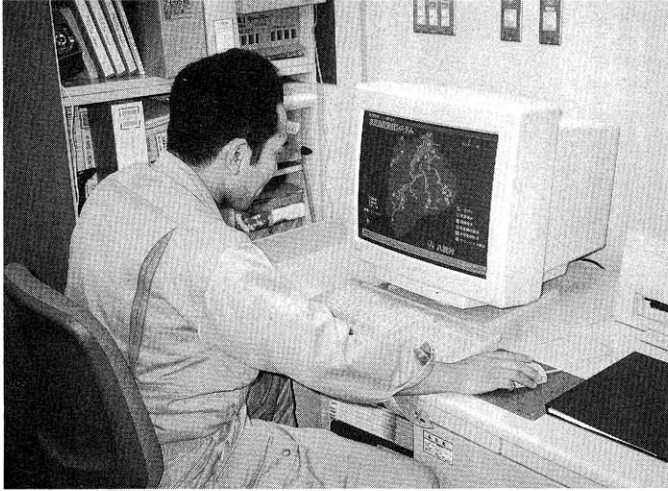


上下水道の処理施設を遠隔監視する画面をビジュアル化させた
小松電機産業のマスター水神＝鳥根県八雲村



小松電機産業

上下水施設の自動制御 監視画面ビジュアル化

制御機器メーカーの小松電機産業(株) (鳥根県八雲村、小松昭夫社長)は、集落排水の自動制御監視システム「マスター水神」の監視画面の機能を高めた「マスター水神」を開発した。上下水道の処理施設の稼働状況を瞬時にグラフィ化する事で管理者が運転パターンをつかみやすとした。集落内の水源の位置や

配水管のつながりを画面上に取り出せるようにもなっており、同社では「ノート型パソコンを使えばデータを持ち運ぶことができる。学校教育などで利用されれば水質や節水意識を高める良い教材になる」と幅広い利用を呼び掛けている。

「マスター水神」を開発

同社では平成四年に、浄水場やポンプ場など上下水施設の稼働状況を電話回線を使い、役場などに置いたコンピュータ画面で一括監視する「やくも水神」を開発。さらに六年には、この集落排水の遠隔監視システムに、窒素やリンの除去率を高めた浄化装置を加え、排水の浄化処理と計測・監視機能を一体化させた新機種「ニューやくも水神」を追加投入している。

運転パターンのは握が容易に

マスター水神は計測データの加工度を上げ、管理しやすいように画面表示をビジュアル化しているのが特長。例えば、水質、水位、流量など計測・収集した十六種のアナログデータを瞬時にグラフィ化して連続した動きをつかみやすとしたほか、グラフ

を輪切りにして特定の時点の数値を分刻みで引き出すこともできる。各種機器の稼働時間を累積して記憶させているため、機種ごとの増設、更新の判断がつきやすい。

画面メニューには、水源ごとのエリア地図、ポンプ場や浄水場など施設の配置図、写真と詳細な住宅地図を併用した各施設への道順案内、集落内の水道の連係図なども盛り込んでいる。新システムは三月に鳥根県柿木村と八雲村が導入しており、

給水人口三千人規模で運転している。

運転状況の画面表示を分かりやすくしたことで住民へのデータ公開も進めやすくなる。小松社長は「携帯用のパソコンを使えば教室や議会などで収集したデータを見てもらうことができ。節水や水質に対する住民意識を高め、水と人とのかわり方を考えるきっかけになるシステム」と言い、当面は中海・六道湖周辺での普及を図る。